

人類の出現と文明プリント

名前

問1 中国の黄河流域で発見された、亀の甲羅や牛の骨に複雑な形状の文字が刻まれた資料について、この文字を使用していた王朝とその背景の説明として最も適切なものはどれですか。 (2020年 三重公立入試 類似)

- 殷の時代に、王が政治の重要事項を占った結果などを記録するために使用された。
- 秦の時代に、始皇帝が文字を統一して全国で公式に使用するために定められた。
- 漢の時代に、儒教の教えを広く民衆に伝えるための石碑に刻むために作られた。
- 隋の時代に、科挙の試験を正確に実施するために標準化された書体として広まった。

問2 チグリス川とユーフラテス川の流域で栄えた古代文明において、粘土板に刻んで使用された文字と、のちに全土を統一した王によって制定された「目には目を、歯には歯を」という報復の原則で知られる法典の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 岐阜公立入試 類似)

- 楔形文字 — ハムムラビ法典
- 象形文字 — ハムムラビ法典
- 楔形文字 — 十二表法
- 象形文字 — 十二表法

問3 アフリカのナイル川流域で発展した古代エジプト文明において、川の定期的な増水を予測し、農作の時期を正確に把握するために作成された暦(こよみ)を何といますか。 (2026年 沖縄公立入試 類似)

- 太陽暦
- 太陰暦
- 二十四節気
- グレゴリオ暦

問4 世界の四大文明は、アフリカのナイル川、南アジアのインダス川、東アジアの黄河や長江といった大河の流域で成立しました。これらの文明が大河の周辺で発展した理由について、当時の社会の仕組みの観点から説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2018年 高知公立入試 類似)

- 大規模な灌漑や治水工事を行うために、人々を効率よく組織し、まとめる強力な指導者が現れて国家が形成されたから。
- 大河は他民族の侵入を完全に防ぐ天然の壁となり、軍隊を持つ必要がなくなったことで文化の研究に専念できたから。
- 河川の急流を利用した水車によってエネルギーを確保し、それを用いて青銅器や鉄器を大量生産する工業化に成功したから。
- 大河の周辺には、ピラミッドや巨大な城壁などの石造建築物を作るために必要な良質の石材が、世界で唯一豊富に存在したから。

問5 日本の縄文時代において製作された「土偶」について、その目的や背景を説明した文として最も適切なものを選びなさい。 (2025年 京都公立入試 類似)

- 自然の力への畏敬の念を持ち、豊かな収穫やまじない、安産などを祈るための道具として作られた。
- 大規模な古墳が造られる中で、亡くなった支配者の権力を象徴し、その死後を守るための副葬品として作られた。
- 大陸から伝わった稲作技術が広まる中で、収穫した稲を保存するための高床倉庫の装飾として作られた。
- 律令制度のもとで、成人男性が都へ赴いて労働の代わりに納める税の一種として、全国で均一に作られた。

問6 南アメリカのアンデス山脈付近に位置する世界遺産の遺構「マチュピチュ」を築いた文明について、その特徴を説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2022年 三重公立入試 類似)

- カミソリの刃も通さないほど精巧な石造建築物を築き、山岳地帯に広大な道路網を整備した。
- 強大な騎馬軍団による機動力を活かしてユーラシア大陸にまたがる史上最大の帝国を築いた。
- インド亜大陸においてイスラム文化とインド固有の文化を融合させ、タージ・マハルを建立した。
- 地中海東岸を拠点に海上交易で活躍し、のちのアルファベットの原型となる文字を考案した。

問7 古代文明は、農耕に適した大河の流域で発展しました。現在のパキスタン付近を流れる河川の流域で成立し、モヘンジョ・ダロなどの計画的な都市を築いた文明として正しいものを次の中から選びなさい。 (2025年 愛知公立入試 類似)

- インダス文明
- メソポタミア文明
- 黄河文明
- エジプト文明

問8 11世紀末、ローマ教皇の呼びかけにより、キリスト教の聖地であるエルサレムをイスラム教勢力から奪還することを目的に組織された軍隊を何といますか。 (2023年 青森県公立入試 類似)

- 十字軍
- 宗教改革
- 異端審問
- ルネサンス

問9 奈良の平城京にある東大寺の正倉院には、聖武天皇の遺愛品などが数多く納められています。その中にある「螺鈿紫檀五絃琵琶(らでんしたんのごげんびわ)」などの工芸品は、中央アジアや西アジアの影響を受けた国際色豊かなデザインが特徴です。これらの文物が唐の都である長安を経て日本へ伝わる際に通った、中国と西方を結ぶ陸上の交易路を何と呼びますか。 (2014年 沖縄公立入試 類似)

- シルクロード(絹の道)
- 海の道(香辛料の道)
- ステップの道(草原の道)
- 茶馬古道

問10 中国の河南省安陽市にある「殷墟(いんきょ)」と呼ばれる遺跡から大量に出土し、当時の王朝の存在を証明する決定打となった史料を、その特徴に基づいて説明しているものはどれですか。 (2025年 大阪公立入試 類似)

- 亀の甲羅や動物の骨に刻まれており、占いの内容が記録されている資料
- ピラミッドの内部に描かれており、王の復活を願う呪文が記された資料
- パピルスと呼ばれる植物の茎から作られた紙に、当時の法律を記した資料
- 竹を細長く割ったものに、官僚の採用試験の内容を記録した資料

問11 日本の原始・古代における4つの代表的な資料(打製石器、青銅器、埴輪、和同開珎)を、出現した時期が古いものから順に並べたものとして正しいものはどれですか。 (2014年 愛媛公立入試 類似)

- 打製石器 → 青銅器 → 埴輪 → 和同開珎
- 打製石器 → 埴輪 → 青銅器 → 和同開珎
- 青銅器 → 打製石器 → 埴輪 → 和同開珎
- 打製石器 → 青銅器 → 和同開珎 → 埴輪

問12 ナイル川の流域で栄えた古代エジプト文明では、農耕に大きな影響を与える川のはららん時期を正確に知る必要がありました。そのために天文学が発達しましたが、その結果として作られ、現代の暦の基礎ともなったものはどれですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)

- 太陽の動きを基準とし、1年を365日とする太陽暦
- 月の満ち欠けを基準とし、約29.5日を1か月とする太陰暦
- 時間を60秒、60分で区切るなど、数え方の基礎となった60進法
- 農作業の記録をつけるために考案された、粘土板に刻む楔形文字

問13 シルクロードを介した東西の文化交流に関する記述として、歴史的背景をふまえた最も適切な説明はどれですか。 (2016年 京都公立入試 類似)

- 中国から西方へ絹織物が運ばれる一方で、西方からはぶどうなどの産物や仏教が伝わり、内陸のオアシス都市が中継地として栄えた。
- 中国の特産品である綿織物をヨーロッパへ届けるため、内陸部に大規模な鉄道網が整備され、敦煌などの都市が工業都市として発展した。
- 西方から中国へ紙の製造技術が伝えられたことで、中国国内での仏教の布教が急速に進み、シルクロード沿いに寺院が建立された。
- 地中海沿岸で生産された絹織物を中国へ運ぶことを主目的として、アジア諸国が協力がもたらした広大な交易路を管理・運営した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 殷の時代に、王が政治の重要事項を占った結果などを記録するために使用された。	殷の王は、祭祀や戦争、農作物の収穫などの重要事項を、亀の甲羅や牛の骨を焼いたときに入る「ひび」の形で占っていました。その占いの内容や結果を刻んだものが甲骨文字であり、当時の政治が宗教的な権威に基づいていたことを示しています。
問2	答え 1 楔形文字 — ハンムラビ法典	メソポタミア文明では、シュメール人が楔形文字を発明し、身近に得られた粘土を板状にしたものに記録を残しました。また、バビロニアのハンムラビ王は、領土内の秩序を維持するために、犯罪に対して同等の罰を与える原則を含むハンムラビ法典を編纂し、中央集権的な国家の基礎を築きました。象形文字はエジプト文明、十二表法は古代ローマの法典であるため、これらとは区別が必要です。
問3	答え 1 太陽暦	ナイル川は毎年決まった時期に増水し、周囲に肥沃な土壌をもたらしました。この氾濫の周期を把握することは、農業を行う上で極めて重要であったため、天体の動きを観察することで1年を365日とする太陽暦が考案されました。これは後にローマで採用され、現在の暦の基礎となりました。
問4	答え 1 大規模な灌漑や治水工事を行うために、人々を効率よく組織し、まとめ上げる強力な指導者が現れて国家が形成されたから。	大河の流域で農業生産を安定させるためには、洪水を防ぐ治水や、田畑に水を引く灌漑といった大規模な土木作業が不可欠でした。これらの作業を統率する過程で、強力な権力を持つ王や指導者が現れ、階級や税の仕組み、文字による記録体系を持つ「国家」という組織が整えられていきました。
問5	答え 1 自然の力への畏敬の念を持ち、豊かな収穫やまじない、安産などを祈るための道具として作られた。	縄文時代の人々は、狩猟や採集による生活を営む中で、あらゆる自然物に靈魂が宿ると考えるアニミズム的な世界観を持っていました。土偶は、そうした信仰の中で、大地の豊穡や子孫繁栄、病気やけがの治癒を祈るための呪術的な対象として用いられました。選択肢にある「古墳の副葬品」は古墳時代の埴輪などの説明であり、「律令制度の税」は飛鳥・奈良時代の「庸」などの説明にあたります。
問6	答え 1 カミソリの刃も通さないほど精巧な石造建築物を築き、山岳地帯に広大な道路網を整備した。	インカ帝国は、高地という厳しい自然環境に適応し、山々の斜面に段々畑を作ったり、石を精密に加工して宮殿や神殿を建設したりしました。この高度な石造技術は、現代の建築家も驚くほどの精度を誇ります。他の選択肢はそれぞれモンゴル帝国、ムガル帝国、フェニキアに関する説明です。
問7	答え 1 インダス文明	インダス文明は、現在のインドの国名の語源ともなったインダス川の流域で発展しました。この文明では、レンガを用いた整然とした街並みや下水道を備えた都市遺跡が見つかっています。他の選択肢にあるメソポタミア文明はチグリス・ユーフラテス川、黄河文明は黄河、エジプト文明はナイル川の流域でそれぞれ発生した文明です。
問8	答え 1 十字軍	聖地エルサレムの奪還を目的として、11世紀末から約200年にわたって派遣された軍事遠征の名称です。この遠征の結果、ヨーロッパの人々がイスラム世界の高度な文化に触れることとなり、その後の地中海貿易の活発化や、中世ヨーロッパ社会の変容に大きな影響を与えました。
問9	答え 1 シルクロード（絹の道）	古代、中国（漢や唐の時代）と中央アジア、西アジアを結んだ陸上の交易路は「シルクロード（絹の道）」と呼ばれます。奈良時代の日本は遣唐使を通じて唐の文化を積極的に取り入れました。当時の唐は国際色が非常に強く、シルクロードを通じてもたらされた西方の楽器や装飾技術が日本にも伝来しました。その宝物が今も正倉院に保管されており、日本はシルクロードの東の終着点とも称されます。
問10	答え 1 亀の甲羅や動物の骨に刻まれており、占いの内容が記録されている資料	殷墟は殷王朝後期の都の跡であり、ここから発見された甲骨によって、伝説上の存在に近かった殷が実在したことが裏付けられました。甲骨には、農作物の豊凶、戦争の成否、天候、王の健康状態などの占いの結果が刻まれており、当時の社会状況を詳しく知ることができる一級の史料となっています。
問11	答え 1 打製石器 → 青銅器 → 埴輪 → 和同開珎	日本の歴史において、まず旧石器時代に石を打ち欠いて作った打製石器が使われました。次に、弥生時代になると大陸から稲作とともに青銅器などの金属器が伝わりました。その後、古墳時代には古墳の周囲に並べるための埴輪が作られるようになり、奈良時代に入ると律令国家の形成に伴い、唐の貨幣にならった和同開珎が鑄造されました。この変遷は、生産技術の向上や国家体制の整備の過程を反映しています。
問12	答え 1 太陽の動きを基準とし、1年を365日とする太陽暦	エジプト文明は「ナイルのたまもの」と呼ばれるほど、川のはんらんがもたらす肥沃な土壌に依存していました。はんらんの周期を予測することは、農作業の計画を立てる上で国家の死活問題であったため、天文学が高度に発達し、太陽に基づいた暦が誕生しました。なお、太陽暦や60進法、楔形文字はメソポタミア文明の主要な特徴です。
問13	答え 1 中国から西方へ絹織物が運ばれる一方で、西方からはぶどうなどの産物や仏教が伝わり、内陸のオアシス都市が中継地として栄えた。	シルクロードは単なる物資の輸送路ではなく、宗教や技術、文化が混ざり合う重要な役割を果たしました。中国側からは高品質な絹織物が輸出され、西方（中央アジアや西アジア）からはぶどうなどの植物や、インド起源の仏教が中国へと伝来しました。この交易を支えたのが砂漠点在するオアシス都市であり、敦煌はその代表的な拠点の一つとして仏教美術などの文化が花開きました。